

## 平成22年第1回定例会（3月）一般質問

### (2) 情報通信基盤におけるIP告知端末を用いたサービスについて

- 議員 宮下裕美子 第2点目は、情報通信基盤整備におけるIP告知端末を用いたサービスについてですが、昨年6月ブロードバンド環境について一般質問させていただきましたが、それからほどなくして情報通信基盤整備事業が展開され、条件の良い補助も確保できました。指摘した問題が解決されたこと、そして何より町内に光ファイバー通信網が整備されることに町民の一人として非常に喜んでおります。

さて今回の情報通信基盤整備事業では、IP告知端末を各戸に設置し様々な行政サービスに役立てていくことが一つの目玉ですが、そのサービス内容については、プロジェクトチームを立ち上げて検討すると聞いています。そこで町長にお聞きしたいのは、そのプロジェクトチームの具体的な内容と検討の工程（タイムスケジュール）はどのようなになっているか、お聞きいたします。

- 議長 吉田 義一 町長。
- 町長 櫻庭 誠二 今回、情報通信基盤整備ということで、空知管内では我が町を含めて4市町であり、長沼町はこの事業が始まる前に整備していましたので、25市町のうち5市町という中で、特色ある世界最速の光ファイバーで情報整備ができることを極めて歓迎しているところですし、喜ばしく思っているところでもあります。

年度末になってようやく国の補助金・交付金のかたちが見えるという状況で、本年にとっては大変有利なかたちでの整備が可能となり、最終的には3月5日の全員協議会でご理解いただいたものと判断しているところであります。

3月9日に見積合せを行いましたので、これから本格的に作業が進むことになり、IP告知端末の初期の目的は防災ですが、広報をはじめ保健・福祉・教育・農政・商工・消防など各般に渡る活用が想像されており、4月以降早急に庁内に各関係職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、有効活用を検討して行きたいと考えております。今、この事業がスタートしたばかりの状況で、具体的な内容・スケジュールを問われても答えに難しいところがありますが、他市町で取り込まれている基本的なアプリケーションを参考にしながら、本町としてもまた住民にとってより使いやすいものにして行きたいと考えているところであります。

またどのような使用法があるのか、ご意見は広く伺いたいと思いますが、一定のかたちができるところまでは職員主体のプロジェクトで進めて行きたい、但し使い方の中で

農協と組合員・商工会と会員あるいは区長・町内会会長・住民といったネットワークを構築して行きたいと思いますので、そういう機関との打ち合わせについては、順次並行して行っていきたいと考えております。

いずれにしても初年度で全てが完全なものになるとは思っていませんので、今後の運用の中で随時カスタマイズを繰り返しながら有効活用を図りたいと考えております。

○ 議長 吉田 義一 宮下裕美子君。

○ 議員 宮下裕美子 今、初年度で事業もほとんど始まらない状況の中で、全体的なこととはまだ言えないということと、基本的なところができるまでは庁内で様々な分野の人が加わったプロジェクトチームを作るということ、それができた後としてはJAや商工会や区長等の機関との打ち合わせも含めて検討していくということですが、私としてはプロジェクトチームがある程度最初の段階では、勿論町側が中心になってやるのが当然だと思いますが、やはり庁内には今までIT技術や製品に触れたことのない人も数多くいますので、内容的に町が考えていたことが、実際町民に応用する段階で十分に伝わらない可能性が高く、その分野に関しては事業が始まるできるだけ早い段階で、回数を重ねながら一緒に手直しをしていく必要があると考えていますので、住民の参加が非常に重要になってくると思いますが、直接的にプロジェクトチームのメンバーとして参加しなくても、モニターあるいはオブザーバーで様々な住民の意向や知識を早い段階で反映させていくことが、より良いサービスにつながるのではないかと考えています。最終的な手直しが色々必要なのは分かりますが、初年度のスタートの段階である程度のかたちが見えていないと住民にとって不安なものになってしまうと思いますが、そういう意味で、できるだけ早くに町民参加で協働したかたちのプロジェクト参加が必要であると考えていますが、それについてもう一度答弁願います。

○ 議長 吉田 義一 町長。

○ 町長 櫻庭 誠二 住民の皆さんにきちんと説明できる段階でなるべく早い段階で説明して行きたいと思います。

○ 議長 吉田 義一 宮下裕美子君。

○ 議員 宮下裕美子 説明ではなく、参加により一緒に作り上げるその部分に町民を参加させてほしいというつもりでの質問だったのですが、その点に関してお願いします。

○ 議長 吉田 義一 町長。

○ 町長 櫻庭 誠二 宮下議員の質問の中で、分からない人の説明をきちんとしなければならぬというところでどうしていますか、という質問であると思いそのように答えました。

もう一点、プロジェクトに町民参加という部分ですが、これはある程度の仕様がきちんと分かっている人であるでしょうし、その部分についてはネットワーク構築段階できちんとそれらについても連携を図っていくということで答弁したつもりであります。

○ 議長 吉田 義一 宮下裕美子君。

○ 議員 宮下裕美子 議長、この質問に対して4回目になりますが、よろしいでしょうか。

○ 議長 吉田 義一 許します。

○ 議員 宮下裕美子 私としては先ほど住民参加の中で、プロジェクトチームの直接的なメンバーではなくても、モニターあるいはオブザーバーという段階もあって、住民の参加が可能ではないかということも、先ほどの質問に織り交ぜていますので、その部分だけお願いします。

○ 議長 吉田 義一 町長。

○ 町長 櫻庭 誠二 この事業については、これから始まる事業でありますので、色々な人の意見を聞きながら最善の方法をとって行きたいと思えます。

○ 議長 吉田 義一 宮下裕美子君。

○ 議員 宮下裕美子 了解しました。町にとっても非常に大きな事業ですし、町民にとっても今後インターフェイスを使いながら、より広がるような事業ですので、最初の段階のところは慎重且つ大胆にそして多くの人の協力で始めていただきたいと思います。